

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社アーク 上場取引所 東
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 太浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 白石 泰基 TEL 06-6260-1040
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,082	△1.0	323	△52.6	295	△9.8	241	—
29年3月期第2四半期	21,296	△6.4	683	△28.9	328	△61.5	△69	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 703百万円 (ー%) 29年3月期第2四半期 △2,279百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.68	0.60
29年3月期第2四半期	△0.19	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	44,099	28,901	65.5	55.94
29年3月期	42,944	28,192	65.6	53.82

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 28,901百万円 29年3月期 28,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	1.4	2,200	19.7	1,850	10.6	1,100	△19.1	3.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	338,657,431株	29年3月期	338,657,431株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	6,345,866株	29年3月期	6,393,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	332,282,078株	29年3月期2Q	332,251,531株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、前記の業績予想とは大きく異なることがありうることをご承知ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済情勢を見ますと、欧米では、雇用環境の改善と個人消費の回復が続いたこともあり景気は回復基調を辿りました。国内では、景気回復は力強さを欠きながらも緩やかに持ち直しました。新興国においても、東南アジアなどにおいて内需や輸出が好調に推移するなど、景気は総じて底堅く推移しました。

このような状況のもと、当社の欧州地域における事業は全般的に好調に推移しましたが、国内オートモーティブ事業において主要顧客の開発投資が延期されたことや、ドイツにおけるエンジニアリング事業の収益悪化により、当第2四半期連結累計期間における売上高は21,082百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は323百万円(前年同期比52.6%減)となりました。また、営業外損益において、為替差損28百万円(前年同期は為替差損319百万円)を計上したことにより、経常利益は295百万円(前年同期比9.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は241百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失69百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① オートモーティブ事業

海外では、欧州の金型、小ロット生産が引き続き好調を維持し、アジアのタイでは試作事業を中心に堅調に推移いたしました。一方、国内では主要顧客向けの売上が下期にずれ込みました。これらの結果、売上高は11,272百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は793百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

② エンジニアリング事業

海外では、ドイツ派遣法運用の変更により市場環境が変化、一過性の費用が増加したことに加え、欧州大手自動車メーカーの不正問題により市場が大幅に縮小し、過度な価格競争で収益が悪化いたしました。一方、国内においては、解析エンジニアリング事業の顧客への浸透により、受注量は順調に増加しております。これらの結果、売上高は5,170百万円(前年同期比1.7%増)、営業損失は397百万円(前年同期は営業損失46百万円)となりました。

③ コンシューマー事業

国内では、民生分野での試作事業が、海外では欧州の試作事業が堅調に推移いたしました。米国、台湾の金型、小ロット生産が低調に推移いたしました。これらの結果、売上高は5,389百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は394百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況に関する事項

当第2四半期連結会計期間末における総資産は44,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,155百万円増加いたしました。項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,253百万円増加し、29,791百万円となりました。これは、現金及び預金が975百万円、受取手形及び売掛金が417百万円、仕掛品が248百万円及び繰延税金資産が118百万円増加したものの、電子記録債権が267百万円及びその他の流動資産が261百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、14,227百万円となりました。これは、有形固定資産が40百万円及び無形固定資産が121百万円減少したものの、投資その他の資産が69百万円増加したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、81百万円となりました。これは、社債発行費を償却したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ445百万円増加し、15,198百万円となりました。これは主に、短期借入金が199百万円、長期借入金が840百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が251百万円、前受金が335百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ709百万円増加し、28,901百万円となりました。これは主に、利益剰余金が241百万円、その他有価証券評価差額金が26百万円、為替換算調整が437百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して745百万円増加し、12,223百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。なお、現金及び現金同等物に係る換算差額により、資金が111百万円増加しております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は752百万円(前年同期は538百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が319百万円、減価償却費が816百万円、売上債権の減少額が366百万円あったこと等により資金が増加したのに対して、たな卸資産の増加額が185百万円、仕入債務の減少額が346百万円、その他の流動負債の減少額が236百万円あったこと等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は921百万円(前年同期は1,953百万円の支出)となりました。これは主に定期預金の預入による支出が212百万円、有形固定資産の取得による支出が648百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は802百万円(前年同期は25百万円の支出)となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済による支出が70百万円、長期借入金の返済による支出が225百万円、社債の償還による支出が142百万円あったものの、短期借入金の増加額が189百万円、長期借入による収入が1,049百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月9日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,866	12,841
受取手形及び売掛金	11,676	12,094
電子記録債権	1,117	849
商品及び製品	273	292
仕掛品	479	727
原材料及び貯蔵品	766	729
繰延税金資産	539	657
その他	2,041	1,779
貸倒引当金	△220	△180
流動資産合計	28,538	29,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,828	8,098
減価償却累計額	△3,976	△4,247
建物及び構築物(純額)	3,851	3,850
機械装置及び運搬具	10,655	10,981
減価償却累計額	△6,248	△6,645
機械装置及び運搬具(純額)	4,407	4,335
工具、器具及び備品	3,228	3,539
減価償却累計額	△2,272	△2,479
工具、器具及び備品(純額)	956	1,059
土地	2,527	2,526
建設仮勘定	138	69
有形固定資産合計	11,881	11,841
無形固定資産		
のれん	924	874
その他	668	597
無形固定資産合計	1,593	1,471
投資その他の資産		
投資有価証券	339	381
繰延税金資産	14	15
その他	490	518
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	844	914
固定資産合計	14,319	14,227
繰延資産		
社債発行費	87	81
繰延資産合計	87	81
資産合計	42,944	44,099

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,481	3,229
短期借入金	—	199
1年内償還予定の社債	284	284
1年内返済予定の長期借入金	325	431
リース債務	136	102
未払金	893	761
未払法人税等	193	184
未払費用	834	962
前受金	2,172	1,837
繰延税金負債	14	9
賞与引当金	832	720
その他の引当金	31	24
その他	968	1,202
流動負債合計	10,168	9,950
固定負債		
社債	1,716	1,574
長期借入金	684	1,525
リース債務	481	448
繰延税金負債	1,214	1,223
再評価に係る繰延税金負債	12	12
株式給付引当金	11	5
その他の引当金	49	51
退職給付に係る負債	322	332
その他	91	73
固定負債合計	4,583	5,248
負債合計	14,752	15,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	11,658	11,658
利益剰余金	15,485	15,727
自己株式	△197	△192
株主資本合計	28,947	29,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	105
土地再評価差額金	△160	△160
為替換算調整勘定	△677	△239
退職給付に係る調整累計額	3	1
その他の包括利益累計額合計	△754	△292
純資産合計	28,192	28,901
負債純資産合計	42,944	44,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	21,296	21,082
売上原価	16,529	16,715
売上総利益	4,767	4,366
販売費及び一般管理費	4,083	4,043
営業利益	683	323
営業外収益		
受取利息	16	14
持分法による投資利益	6	1
貸倒引当金戻入額	2	53
その他	37	27
営業外収益合計	62	96
営業外費用		
支払利息	12	23
社債発行費償却	—	6
為替差損	319	28
割増退職金	46	30
その他	39	35
営業外費用合計	418	124
経常利益	328	295
特別利益		
固定資産売却益	5	12
受取保険金	—	85
特別利益合計	5	97
特別損失		
固定資産除売却損	9	16
災害による損失	179	56
特別損失合計	188	73
税金等調整前四半期純利益	144	319
法人税、住民税及び事業税	230	188
法人税等調整額	△16	△110
法人税等合計	214	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69	241
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69	241

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69	241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	26
為替換算調整勘定	△2,162	436
退職給付に係る調整額	—	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	0
その他の包括利益合計	△2,209	462
四半期包括利益	△2,279	703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,279	703

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144	319
減価償却費	761	816
のれん償却額	55	56
賞与引当金の増減額(△は減少)	△114	△130
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33	2
受取利息及び受取配当金	△19	△19
支払利息	12	23
固定資産除売却損益(△は益)	4	4
受取保険金	—	△85
災害損失	179	56
売上債権の増減額(△は増加)	△257	366
たな卸資産の増減額(△は増加)	△414	△185
仕入債務の増減額(△は減少)	168	△346
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△304	425
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2	△12
その他の流動負債の増減額(△は減少)	316	△236
その他の固定負債の増減額(△は減少)	20	△20
その他	191	13
小計	775	1,004
利息及び配当金の受取額	14	24
利息の支払額	△2	△23
保険金の受取額	—	85
災害損失の支払額	—	△48
法人税等の還付額	46	48
法人税等の支払額	△295	△337
営業活動によるキャッシュ・フロー	538	752

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△326	△212
定期預金の払戻による収入	158	—
関係会社株式の売却による収入	127	—
有形固定資産の取得による支出	△1,782	△648
有形固定資産の売却による収入	6	40
その他	△137	△101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,953	△921
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	90	189
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△68	△70
長期借入れによる収入	—	1,049
長期借入金の返済による支出	△47	△225
社債の償還による支出	—	△142
その他	0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25	802
現金及び現金同等物に係る換算差額	△686	111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,127	745
現金及び現金同等物の期首残高	9,571	11,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,443	12,223

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,797	5,082	5,416	21,296	—	21,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	635	3	124	763	△763	—
計	11,432	5,086	5,541	22,059	△763	21,296
セグメント利益 又は損失(△)	837	△46	337	1,128	△444	683

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△444百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△446百万円、セグメント間取引消去による発生額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,661	5,166	5,254	21,082	—	21,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	611	3	135	749	△749	—
計	11,272	5,170	5,389	21,832	△749	21,082
セグメント利益 又は損失(△)	793	△397	394	790	△466	323

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△466百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円、セグメント間取引消去による発生額5百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの区分方法の変更

当社グループの管理体制の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より「オートモーティブ事業」の一部を「コンシューマー事業」に移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当該変更を反映したものを表示しております。